

井奥まさきの市政ニュース

自宅 兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9 (御旅臨時事務所は閉鎖しました)

E-MAIL ioku3@gmail.com

TEL 079-444-2343 FAX 079-444-2418

2018年10月号

通算130号

エアコン 小中学校へのエアコン設置が来夏から実現 2019年

小学校特別教室の使用状況

設置	特別教室名	使用日数
↑ 先送り ↓	音楽室	182日
	家庭科室	162日
	理科室	160日
	図画工作室	146日
	生活科室	88日

2つの表はいずれも高砂市議会資料より
中学校も同様の傾向

災害とも言える今年の夏をうけて一気に小中学校のエアコン設置の議論が進みました。国も学校環境衛生基準を改定して教室の検査項目を「17度以上**28度**以下」としました。(以前は**30度**以下)

選挙戦では子どもたちを含む市民の待望論は大きなものがありました。PTAや教職員組合などからの申し入れなどもあり、高砂市もようやく重い腰をあげました。来年2019年夏には小中学校の普通教室には100%エアコンが設置されます。市民の皆さんの声が届きました。

大きな課題もあります。「特別教室」は音楽室以外が先送りになったことです。市長らは時期も明言しませんでした。

井奥の受け止め

喜び 市民、学校現場からの声で来夏エアコン設置が実現
悲しみ 特別教室の多くは「先送り」→来年には予算化を
疑問 「あれかこれか」、事業選択の議論が必要では？

国の基準から言えば特別教室も同じこと。ほぼ毎日子どもたちが過ごす教室も多くあります。例えば理科室は「夏の暑い時期は避けて実験などを行う」と教育長は言いますが、無理な運用や先生への負担が心配です。**「ぜひ来年度には特別教室へのエアコンも予算化を」と発言しました。**

ちなみに今回の予算は約15億円、特別教室まで入れると20数億円のようなので。他の事業を遅らせてでも1年1年が勝負の子どもたちへの「投資」が必要ではないでしょうか。「あれかこれか」の事業選択が必要です。事実、高砂市より財政が苦しい自治体でも100%設置しています。

私は「先送り」すべきなのは「山陽電車高架事業」などもっと他の事業があることを議会で指摘しました。

各自治体のエアコン設置状況 (小学校)

財政の苦しい
尼崎市でも
特別教室も
100%設置

自治体名	普通教室	特別教室
高砂市	3.1→100%	18.8→?%
尼崎市	100%	100%
川西市	100%	100%
加東市	100%	100%
芦屋市	100%	81.9%



ブロック

通学路のブロック塀をチェック

通学路にある危険民間ブロック塀への対応

小学校区	注意喚起	対応予定
荒井	7件	1件対応
その他	28件	5件対応



6月18日高槻市で登校中の9歳の女の子が地震で倒れたブロック塀の下敷きになり死亡する痛ましい事件がありました。高砂市でも公共施設を点検・対応し、国や県とあわせて民間ブロック塀の撤去補助金も創設しました。(11月号広報に掲載予定)。私は通学路の危険民間ブロック塀の状況をチェックしました。危険度は高くないようですが、未対応29件の経過観察を求めました。

井奥まさき活動アルバム



主に女性たちの2019年4月統一地方選挙への挑戦を応援するために私が講師の「選挙講座」を各地で実施中。

写真は9月29日明石で行われた「政治カフェ」の風景。他に9月24日には尼崎市でも実施。候補者男女均等法をうけてなのか女性たちが元気です。

市民病院

大苦戦の高砂市民病院 ついにあり方検討会が発足



9月議会に「高砂市民病院のあり方検討委員会」の設置が提案されました。私や他の議員が求め続けていた「第三者委員会」がようやく設置されること

になったわけですが、素直に喜べない状況です。経緯を確認すると7月末から8月に平成30年度の厳しい病院経営状況を受けて大野病院管理者が市長と数度面談、結果として検討委員会設置が決まったということのようです。

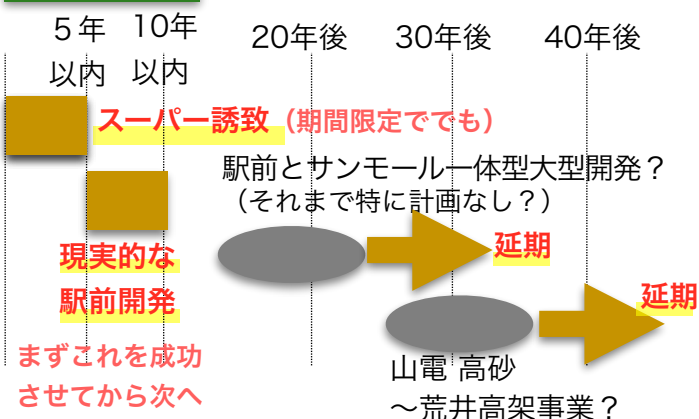
一昨年、昨年と補助金以外に市民病院は約4億5000万円以上の赤字だったのですが、今年度はこのままでは6億円以上に増える危険性があるということです。その要因は加古川中央市

民病院の存在です。医師数はついに200名以上になり、ガンなどの外科手術も加古川市民病院を選ぶ患者が多くなっています。高砂市民病院の医師もスタッフも懸命に頑張っていますが、医師数は31名と大きな差があります。同じ土俵で勝負はできません。別の選択肢を考える必要があります。

例えば加古川市民病院は「高度急性期病院」なので入院期間はできるだけ短く設定され、早期退院を求められます。病院と自宅や介護施設などをつなぐ病院は2市2町レベルでまだまだ不足しています。医師やスタッフ、あるいは医師を派遣する神戸大学などの理解も得つつ、方向転換を考えないといけません。緊急事態を受け、市議会でも病院に関する特別委員会が設置されました。私は副委員長です。活発な議論をリードしていきたいと思っています。

高砂町開発

西友・サンモール跡地のスーパー誘致を最優先にすべき



灰色は市や開発業者の考える方向性 (井奥の推察)

茶色と赤色は私、井奥が考える現実的な案

高砂町の西友・サンモール跡地への今年4月からの対応を確認しました。跡地を買収した「アスクプランニングセンター」と市長は6月に東京で面談していることが判明。連合自治会も要請していたスーパー誘致をアスクは否定し、今後大きな開発も「含めて」考えるとの回答だったそうです。市はそれを受けて左図の灰色のような方向性を進めるようです。またもや「絵に描いた餅」になりそうです。神河町で町が土地を買いスーパーを誘致した事例を見習い、まずはスーパー誘致を最優先にすべきです。小さな成功を積み重ねた先に大型プロジェクトを考えるべきでしょう。

高砂市民まちづくり協議会 10/24 (土)、11/17 (土) 14時~ユアアイ帆っセンター

子育て日記

「置き勉」対策を市議会で一般質問

このコラムでも取り上げた「通学カバンが重い」こと、そして学校に教科書を置く「置き勉」が認められていないことについて一般質問しました。

コラムを書いて以来、マスコミの報道も続き、ついに文部科学省が9月に「置き勉」を認める方向での通知を出すなど大きな変化がありました。市の教育委員会も「小学校低学年5キロ、小学校高学年7キロ、中学校10キロの荷物の時があった」と認め、柔軟な対応を約束してくれました。

質問にあたって娘に「教科書貸して」とねだり、市長や他の議員にも改めて教科書が大きく、重く

なっていることを実際に見てもらいました。議会では他の議員も「置き勉」質問があり、子どもの権利条約の観点から再質問で取り上げる議

員もあって、少しは話題になったかと思います。

終わった翌朝に息子が「で、いつ質問するの?」と尋ねてきました。いや、もう終わったんだけど…

「で、いつから置き勉できるの?」多分すぐにね。



中一時代の娘の教科書 (右下) を借りて一般質問